



今週の注目材料=米CPIとPPIに注目

2026年9月7日

10日に米生産者物価指数(PPI)、11日に米消費者物価指数(CPI)の発表が予定されています。米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長は8月28日のジャクソンホール会議での基調講演において、「PCEの2%目標、確固たる揺るがない目標」「目標に向かい明確かつ十分なペースで向かっていかないのであれば、FRBはやるべきことがある」「政策金利の調整がデュアルマンドートを実現するための主要な手段」「労働市場はかなり安定しており、FRBが現在最も注力すべきは物価である」などと発言しました。インフレの高止まりへの警戒感を示し、物価動向を警戒しつつ、利上げに向かう姿勢を示唆する形となり、講演を受けて9月15日、16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)の見通しは、据え置き65%、利上げ35%という状況から据え置き35%、利上げ65%に変化し、利上げ期待が多数派を占める状況となりました。米国のインフレターゲットの対象であるPCE(個人消費支出)価格指数の8月分は9月30日の発表となり、今月のFOMCには間に合わないこともあり、同様の指標であるCPI及びCPIやPCEに対して先行性があるPPIの最新データに対して注目が集まります。

7月の米CPIは前年比+3.4%、変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア前年比+2.5%となりました。ともに市場予想と一致したものの、6月の+3.5%、+2.6%から鈍化しています。中東情勢を受けた原油高への警戒感は継続していたものの、6月7月と価格が落ち着きを見せており、ガソリン価格も低下していたことで、全体を押し下げました。7月のガソリン価格は前年比+24.6%と6月の+26.7%から鈍化。エネルギー価格全体でも+14.7%と6月の+15.7%から鈍化しました。食品価格は豚肉価格の低下、レタス価格の急落(前月比-16.4%)などを受けた前月比で伸びが鈍化も、前年比では+3.0%の横ばいとなっています。コア項目では、財部門が前月比で+0.2%と6月の-0.1%から回復。衣料品や中古車が前月比で上昇したことが押上材料となりました。もっとも前年比では+0.8%で横ばいとなっています。コアサービス部門は前月比+0.2%と6月の前月比横ばいから伸びが強まりましたが、前年比では+3.0%と6月の+3.2%から伸びが鈍化しました。自動車保険の前年比-4.5%などを受けて輸送サービスが+2.9%と6月の+3.4%から鈍化したことが全体を押し下げています。

こうした状況を受けた8月のCPIですが、前年比+3.4%と前回と同水準見込みとなって

います。中東情勢警戒もあって原油価格が上昇、ガソリン価格も上昇傾向となり、前月比では+0.4%と7月+0.1%から伸びが強まる見込みですが、前年比ベースではコア項目の鈍化期待もあって落ち着くとみられます。コア前年比は+2.4%と7月の+2.5%から鈍化。同前月比は+0.2%で7月と同水準見込みです。

8月のガソリン価格は米エネルギー情報局(EIA)の全米全種平均で1ガロン当たり4.192ドルと7月の4.064ドルから3.15%の上昇。前年比でも伸びが鈍化しています。一方コア項目に関しては比較対象元の2025年7月の数字が、自動車や医療費の伸びを受けて6月から伸びており、ベース効果で見かけ上伸びが鈍化するとみられます。

CPIの前日10日に発表される8月の米生産者物価指数(PPI)は、前回7月のPPIは前年比+4.7%と6月の+5.5%から大きく鈍化しました。市場予想の+4.9%も下回っています。ガソリン価格の低下とそれを受けたエネルギー高が一服がPPIの伸び鈍化につながりました。CPI同様にレタス価格下落(前月比-73%)からの食料品の下げも見られました。レタス価格の低下は、現在米国で流行するサイクロスポラ症の発生要因として、需要を控える動きが広がったことが背景にあります。サイクロスポラ症の流行はまだ続いているので、8月の数字も警戒が必要です。

今回の市場予想は前年比+5.2%、食品とエネルギーを除くコア前年比が+4.6%とともに7月の+4.7%、+4.2%を超える伸びが見込まれています。中東情勢への警戒を受けて原油高が進む中で、エネルギーの反発が見込まれています。

CPI,PPIがともに市場予想を超える伸びとなった場合は、今月のFOMCでの米利上げ期待が高まりドル高となる可能性があります。

山岡和雅 | ミンカブ・ジ・インフォノイド 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。